		事務事	業評価	「シート(	25年度	実施事務	8事業)			
	総合計画の施策名	良好な自然環	境を生かし	<b>したまちづく</b>	Ŋ	担当部署名	環境部環境は	こやさしい課	担当課長名	板谷 実
事務	(※) 第1期実施計画の事業名	景観保全事業	£			(※) 第1期 分類番号/事業		3051	2	
事業名	財務会計上の事業名	景観保全事	業			財務会計上	の短縮番号		5100	
1	事務事業の概要				※総合	計画第6章に位	系る事業は「池	也田市行財政	改革推進プ	ラン」による。
	事業区分	☑ サービス事業	業	□プロジェク	卜事業		2型事業		□投資的事	業
=	会計区分(会計名を記入)	☑一般会計	☑ 一般会計 □ 特別会計 ( ) □ 企業会計 (							)
	事 業 の 対 象 【誰(何)を】	景観保全区域	えにおける!	事業者						
	事業の手段 【どうする(させる)ことで】	五月山景観保	全条例に	基づく、現れ	犬変更行為	の指導等				
	事業の目的【どのような結果を得るか】	みどりの景観を	を保全する	0						
	実 施 期 間	✓継 続	(平成8年	度 ~ )			□時 限	(平成	年度~平成	年度)
	事業内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度		☑ 未 実 施				
	※見直し内容を記入									
	実施根拠	□■国・府の制	度	□国・府	の制度+市	独自の制度	☑市犭	独自の制度		
	※根拠となる法令の条項 までを記入	五月山景観保金	全条例							
2	事業コスト・指標値の推移									
	区分	23 年』 (決算		24 <sup>全</sup> (決:		25 <sup>4</sup> (決			年度 - 算)	H25/H24
	事業費(千円)	()(八异	620	(1)	<del>异)</del> 603	(1/	<del>异)</del> 182	(1)	<del>异)</del> 372	30.2%
	人 件 費 (人·千円)	0.10	780	0.10	780		1,794	0.23	1,794	230.0%
事	正職員 内 再任用短時間勤務職員	0.10	780	0.10	780		1,794	0.23	1,794	230.0%
業	内 再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
ココ	訳 非常勤職員		0		0		0		0	_
スト	アルバイト		0		0		0		0	-
等	支出合計A		1,400		1,383		1,976		2,166	142.9%
	財工・府支出金									_
										_
	源		1,400		1,383		1,976		2,166	142.9%
	受益者負担率 B÷A		1,100		1,000		1,010		2,100	1 <del>1</del> 2.5%
						99 左帝	94 年帝	05 左帝	96 左座	日捶店
	区 分	内		容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値
指	(1)	見細巾入夕り	ilahar had	:日川444	[pl.	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
標	(1)	景観保全条例	机計可中請	f 曲 出 件 数	件	4	0	3	_	_
値	(2) □活動 □成果									
	(3) □活動 □成果									
_	(4) □活動 □成果 -4-用の法-4-14-20 M					<u> </u>			<u> </u>	
3	成果の達成状況等		ウシュアほう	⊞1=+#-15: →·	)7	口 無 L + L	- 川太 三田 I = 144 イム・	71.t.	/ C skill blic 7:	キたい
	成果の達成状況 26年度の取組方針			間に推移してし なぎ		目標に向かって		ていない L	☑C 判断で	
	20 中皮切取租力町	□□1 事業内	容・手法を	以苦	⊻2	現在の事業内	谷を継続	L	3 事務事	耒を廃止
	選択の理由	五月山の景鶴	を保全する	るうえで必要	要な施策で <b>る</b>	あるため。				

□1 導入済

規制行政であり、件数も少ないため。

(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否

選択の理由

- 1	
評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
市のシンボルである五月山のみどりを守るため、看板等の設置を行い、条例の周知徹底を図ると共に、関係部署との連携により、景観の保全に取り組む。	市のシンボルである五月山のみどりを守るため、景観シミュレーションを行い、景観の保全を図る。

□ 2 事業の全てが可能

□3 事業の一部が可能

✓ 4 不可能

	事務事	事業評価	iシート(	25年度	実施事務	<b>§事業)</b>				
総合計画の施策名	良好な自然理	環境を生かし	たまちづく	ŋ	担当部署名	環境部環境	色をまもる課	担当課長名	岩崎 隆	
事 ※ 第1期実施計画の事業名	五月山山麓•	•山間緑地係	<b>R全事業</b>		(※) 第1期3 分類番号/事業	実施計画の 美番号/枝番号	3051	3		
事業別別務会計上の事業名	五月山山麓	<b>೬</b> ・山間緑均	也保全事業	ŧ	財務会計上			5197		
1 事務事業の概要				※総合	計画第6章に係	系る事業は「池	也田市行財政	改革推進プ	ラン」による。	
事業区分	□サービス事	業	☑ プロジェク	ト事業	√ 元	₽型事業		投資的事	業	
会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計 □特別会計 ( ) □企業会計 ( )									
事業の対象 【誰(何)を】	市民及び利用者									
事 業 の 手 段 【どうする(させる)ことで】	要綱による保全緑地の買取、市民活動による里山の保全と活用									
事業の目的 【どのような結果を得るか】	五月山の緑の保全と活用を図る									
実 施 期 間	☑継 続	(平成 6年	度 ~ )			□時 限	(平成	年度~平成	年度)	
事業内容の見直し	□実施	(直近)	平成 年度		☑未実施					
※見直し内容を記入										
実 施 根 拠 「※根拠となる法令の条項	□国・府の行			の制度+市	独自の制度	☑市犭	独自の制度			
までを記入	五月山山麓・口	山間緑地の保	全に関する	要綱						
2 事業コスト・指標値の推移		- <del></del>	21.5		0 = 1	<del></del>	00.4			
区分	23 年 (決算		24 <sup>全</sup> (決:		25 <sup>全</sup> (決:		26 <sup>4</sup> (予		H25/H24	
事業費(千円)		0		29,645		0		0	0.0%	
人 件 費 (人·千円) 正職員	0.20	360	0.29	852 312	0.24	1,092 1,092	0.10	546 546	82.8% 350.0%	
事 内 再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員	0.10	360	0.15	540	0111	0	0.01	0	0.0%	
コスポープを持つの表を表しています。	0.10	0	0.10	0	0.10	0	0.03	0	100.0%	
アルバイト       支出合計A		360		0 30,497		1,092		0 546	3.6%	
財 国·府支出金 受益者負担 <b>B</b>									-	
で その他財源		200		00.407		1 000		5.40	-	
一般財源       受益者負担率 B÷A	<u> </u>	360		30,497		1,092		546	3.6%	
	<u>-                                      </u>				23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値	
区 分	内	3	容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	日保區 (H26)	
指 (1) ☑活動 □成果	山	林買収面積		m²	0	10,393	0	_	_	
(3) □活動 □成果 (4) □活動 □成果										
3 成果の達成状況等										
成果の達成状況	✓ A 目標(	こ向かって順調	まに推移してし	Nる 🗌 B	目標に向かって	順調に推移し	ていない	□C 判断で	きない	
26年度の取組方針	内容・手法を改	<u></u> 枚善	√2 ∃	現在の事業内	容を継続		3 事務事	業を廃止		
選択の理由	市の貴重な則	市の貴重な財産である五月山の保全・活用を行うために、必要な事業である。								
(参考)今後のアウトソーシング										
導入の可否 選択の理由		□ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能 要綱に則って五月山の保全緑地を買い取る事業であるため、外部委託はできない。								
4 担当部長が考える今後の										
	を踏まえた課題				(参考) 🛭	作年度記載0	)「評価を踏	まえた課題	と対策」	

市民の身近な里山である五月山の環境保全に努める。

今後も身近な里山である五月山の緑地保全に努める。

			事務	事業評個	ゴシート(	25年度	実施事務	8事業)				
	総介	合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	<u>.</u> b	担当部署名	環境部環境	色をまもる課	担当課長名	岩崎 隆	
事務	(※) 第	51期実施計画の事業名	緑化事業				(※)第1期等 分類番号/事業	実施計画の	3051	5		
事業名	財	務会計上の事業名	緑化推進事	業			財務会計上	の短縮番号		5201		
1	事務	事業の概要				※総合	計画第6章に位	係る事業は「社	也田市行財政	改革推進プ	ラン」による。	
		事業区分	□サービス事	業	プロジェク	ト事業	☑ 定型事業         投資的事業					
÷	会計区	区分(会計名を記入)	☑一般会計	<b>├</b>	寺別会計	(	)	□ 1	業会計	(	)	
	H	事業の対象 【誰(何)を】	市民									
		事業の手段 する(させる)ことで】	植栽、草花•	苗木の配布	ī、保存樹木	等管理用資	資材の配布					
		事 業 の 目 的 ような結果を得るか】	五月山の保	全と緑化、オ	せいっぱい 道	重動の展開、	、保存樹木の	管理助成、	緑化意識の	啓発等		
		実施期間	✓ 継 続	(平成 年	度 ~ )			□時 限	(平成	年度~平成	年度)	
	事 業	内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度		☑未実施					
	※見i	直し内容を記入										
		実施根拠	□国・府の	制度	□■国•府	の制度+市	独自の制度	☑市┆	独自の制度			
	※根:	拠となる法令の条項 でを記入										
2	事業	コスト・指標値の推移							_			
		区 分	23 年 (決算		24 <sup>4</sup> (決	丰度 算)	25 <sup>4</sup> (決		26 <sup>4</sup> (予		H25/H24	
		業費(千円)		1,604		2,446		2,879		2,889	117.7%	
	人(	生 費 (人・千円) 正職員	0.30	540	0.29	672	0.18	858	0.39	1,482	62.1%	
事	内	正	0.15	540	0.04	312 360	0.11	858 0	0.19	1,482 0	275.0% 0.0%	
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-	
ス	訳	管理公社職員 アルバイト	0.15	0	0.15	0	0.07	0	0.20	0	46.7%	
ト等	支	出合計A		2,144		3,118		3,737		4,371	119.9%	
-11	財	国·府支出金						346			_	
	<i>y</i> ~1	受益者負担 <b>B</b> その他財源				600		695		725	115.8%	
	源	一般財源		2,144		2,518		2,696		3,646	107.1%	
	受益	者負担率 B÷A									_	
			,			2441	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値	
1.10		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標値	(1)	☑ 活動 □ 成果	花いっぱ	い運動花苗	i配布数	株	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	
値	(2)	☑活動  □成果		字樹木指定		本	69	68	65	65	65	
	(3)	□活動 □ 成果	花いっ	ぱい運動団	体数	団体	24	27	31	31	31	
	(4)	□□活動 □成果					<u> </u>					
3		の達成状況等 課の達成状況	./ <b>A</b> 日捶	に向かって順詞	油に批扱して	\Z \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	目標に向かって	- III五号田 / ─ <del>   </del> # 49	フいたい 「	O 判断で	キたい	
		ド度の取組方針		内容・手法を			現在の事業内					
		選択の理由					め性のある事		である。			
(参		↑後のアウトソーシング ‡入の可否	☑1 導入	済 □	2 事業の全	てが可能	3 事業の	の一部が可能	4 :	不可能		
	選択の理由 森林病害虫の防除事業を外部委託した。											

			事務	事業評価	もう 一ト(	25年度	実施事務	<b>§事業</b> )			
	総	合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	(9	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司
事務	(※) 第	<b>第1期実施計画の事業名</b>	緑化事業				(※) 第1期 分類番号/事業		3051	5	
事業名	則	対務会計上の事業名	緑化事業				財務会計上			5180	
1	事務	事業の概要				※総合	計画第6章に作	系る事業は 池	也田市行財政	改革推進プ	ラン」による。
	7 07	事業区分	□サービス	事業	プロジェク	小事業		2型事業		☑ 投資的事	業
É	会計区	区分(会計名を記入)	☑一般会計	t	持別会計	(	)		業会計	(	)
	1	事 業 の 対 象 【誰(何)を】	五月山								
		事 業 の 手 段 )する(させる)ことで】	適切な草刈								
		事業の目的 りような結果を得るか】	五月山の保	全と緑化							
	実施期間 図継続 (平成 年度 ~ ) □時限 (平成 年度~平成 年度)								年度)		
	事業内容の見直し ②実施 (直近) 平成23年度 □未実施										
	※見	直し内容を記入	平成23年度に	こ緑化推進事	業が環境部	環境をまもる	課へ移行した	事により、業務	が分散された		
		実 施 根 拠 拠となる法令の条項 でを記入	□国・府の	制度	□国・府	の制度+市	独自の制度	▽市Ϡ	独自の制度		
2		コスト・指標値の推	 移								
	7,1	区分	23 🕏			年度	25 <sup>4</sup>		26 <sup>全</sup>		H25/H24
	事業費(千円)		(決	昇 <i>)</i> 3,486	(決	<del>昇)</del> 2,856	(決:	<del>昇)</del> 2,402	(予	<u>昇)</u> 2,818	84.1%
		件 費 (人・千円)	0.25	2,000	0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,560	100.0%
事業	内	正職員 再任用短時間勤務職員	0.25	2,000	0.20	1,560	0.20	1,560	0.20	1,560 0	100.0%
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
ス	訳	非常勤職員 アルバイト		0		0		0		0	_
ト等	支	出合計A		5,486		4,416		3,962		4,378	89.7%
.,	財	国•府支出金									_
		受益者負担 <b>B</b> その他財源									
	源	一般財源		5,486		4,416		3,962		4,378	89.7%
	受益	者負担率 B÷A									-
		区 分	内		容	単位	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (予定)	目標値 (H26)
指標値	(1)	□活動 ☑成果	五.,	月山草刈面	積	m²	10,340	13,200	3,000	10,000	_
値	(2)	□活動□成果									
	(3) (4)	□ 活動     □ 成果       □ 活動     □ 成果									
3	, ,	の達成状況等									
Ť		成果の達成状況	☑A 目標	に向かって順言	周に推移してい	いる 🗌 B	目標に向かって	順調に推移し	ていない	C 判断で	きない
	26 <sup>£</sup>	<b>F度の取組方針</b>	□1 事業	内容・手法を	改善	<b>√</b> 2∃	現在の事業内	容を継続		3 事務事	業を廃止
	選択の理由 緑化推進事業については環境をまもる課に移行したが、五月山の植樹祭などについては今後もみずとみどりの課で実施していくため、必要不可欠である。										
(参		う後のアウトソーシング 拿入の可否	□1 導入	済 🗌	2 事業の全	てが可能	☑3 事業0	の一部が可能	4 2	不可能	
	選択の理由 ボランティアや公社による笹刈等を実施しているが、危険な場所での作業については工事発注している。										

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
他田市の宝である五月山のみどりの保全・活用に協力している市民や企業は、緑化行 政としてなくてはならない存在であり、存続する限り、支援していく必要がある。	昭和56年度より、市民の森をつくる会が発足し、市民の森計画を策定し、計画に沿って事業展開している。近年では、平成15年から市民の森をつくる会と協働で、市民の森にサクラや紅葉、ドウダンツツジなどを植栽している。今後も、引き続き活動を支援していく。

			事務	事業評個	もう 一ト(	25年度	実施事務	<b>务事業</b> )				
	総介	合計画の施策名	良好な自然理	環境を生か	したまちづく	(9	担当部署名	都市建設部みて	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司	
事務	(※) 第	51期実施計画の事業名	街路樹等管:	理事業			(※) 第1期等 分類番号/事	実施計画の 業番号/枝番号	3051	6		
事業名	財	務会計上の事業名	街路樹等管	<b>伊事業</b>			財務会計上	:の短縮番号				
	<u></u>	-to VIII - I leve				※総合	計画第6章に	係る事業は「池	1田市行財政	改革推進プ	ラン」による。	
1	事務	事業の概要 事業区分	□ サービス事	± <del>**</del>	□ プロジェク	11 审 #		定型事業		✓ 投資的事	<del>·</del>	
2	2計5	・	一般会計			/ IT <del> </del>			· <b>*</b> 스타	( 仅有的	)	
_		事業の対象	└ │ 一般会計									
	<u> </u>	【誰(何)を】 事業の手段										
	【どう	する(させる)ことで】	池田市公共施設管理公社に補助金を支出し、維持管理業務を実施している。									
		事業の目的 ような結果を得るか】	街路樹の良	好な状態の	保持							
		実施期間	✓ 継 続		年度 ~ )			□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)	
	事業	内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度	•	☑ 未 実 施					
※見直し内容を記入												
	<b>\•</b> / <del>L□</del> .	実施根拠	□国・府の	制度	□国・府	の制度+市	虫自の制度	☑市犭	虫自の制度			
		拠となる法令の条項 でを記入										
2	事業	コスト・指標値の推移		- r <del></del> -	0.1	F.E.				tr e		
		区 分	23 年 (決算		24 <sup>2</sup> (決	年度 算)	25 <sup>4</sup> (決	年度 算)		年度 ·算)	H25/H24	
	事業費(千円) 人件費(人·千円)		0.05	34,256	0.05	36,537	0.15	36,633	0.15	28,647	100.3%	
	正職員		0.35 0.35	2,800 2,800	0.25 0.25		0.15 0.15	1,170 1,170	0.15 0.15	· -	60.0%	
事業	内	再任用短時間勤務職員 任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0		
下	+:	アルバイト		0		0		0		0 017	-	
等	<u>支</u>	出 合 計 <b>A</b> 国·府支出金		37,056		38,487		37,803		29,817	98.2%	
	財	受益者負担 <b>B</b>									_	
	源	その他財源一般財源		37,056		38,487		37,803		29,817	98.2%	
	受益	者負担率 B÷A									-	
		区分	内		容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値	
指	(1)			剪定等の年			(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標値	(1) (2)	✓ 活動       □ 成果         □ 活動       □ 成果	倒小り	男正寺の午	可什奴	件	24	24	24	24	_	
胆	(3)	□活動□成果										
	(4)	□活動 □成果										
3		の達成状況等 果の達成状況		に向かって順言	田 ニ +任 チタ ト ブ ェ	\Z \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	日 挿に白む - 7	- 川内 - F田 / = + # 4々	ていたい 「	C 判断で	キたい	
		F度の取組方針		内容・手法を			日保に向かつり 現在の事業内	「順調に推移し 容を継続	[	_	業を廃止	
		選択の理由	池田市公共	施設管理公	社により適							
(参	考) 今	·後のアウトソーシング		. —								
		入の可否	✓ 1 導入	済 📙	2 事業の全	てが可能	□3 事業(	の一部が可能	4	不可能		
		選択の理由	池田市公共施設	受管理公社にネ	甫助金を支出し	て維持管理を	実施					
4	担当	部長が考える今後の	)方向性。見	通」								

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
道路整備に併せて植栽された樹木も植栽当時は、適切な規模であったが、年数とともに大きく育ち、現在では、道路のキャパシティにあっていない。適切な樹種を選択して、 街路樹の再整備が必要と考える。	古くに道路整備した際、道路付属物として植樹されたものが多く、道路の 規模にあっていないのが現状である。 今後も適切な維持管理に努めるが、街路樹の再整備も必要と考えられ る。

	総合	合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	(h	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司	
事務		51期実施計画の事業					(※)第1期 分類番号/事業	<b>実施計画の</b>				
事業名	財	務会計上の事業名	猪名川サク	ラ植栽事	 集		財務会計上					
						※総合	計画第6章に位		 也田市行財政	(改革推進プ	ラン」による。	
1		事業の概要		- alla								
		事業区分	□ サービス		プロジェク	,		三型事業		√ 投資的事	<b>事業</b>	
=======================================		区分(会計名を記入) 事業の対象	_		持別会計	(	)	<u></u>	業会計	(	)	
		【誰(何)を】	猪名川沿い	猪名川沿い								
	【どう	事業の手段する(させる)ことで】	ヤエザクラの	)植栽								
	事 【どの。	事業の目的 ような結果を得るか】	猪名川をサ	猪名川をサクラの名所にする。								
		実施期間	☑継 続	(平成24年	F度 ~ )			□時 限	(平成	年度~平成	年度)	
	事 業	内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度		☑未実施					
	※見词	直し内容を記入										
		実施根拠	□国・府の	制度	□□国•府	の制度+市	独自の制度	✓市Ϡ	独自の制度			
	※根担 まて	拠となる法令の条項 でを記入										
2	事業	コスト・指標値の推										
		区 分	23 <sup>左</sup> (決 <sup>2</sup>		24 <sup>2</sup> (決	年度 算)	25 <sup>全</sup> (決:		26 <sup>4</sup> (予	年度 算)	H25/H24	
		業費(千円)		_		6,825		11,760		6,000	172.3%	
重	人化	牛 費 (人・千円) 正職員	0.00	0	0.20	1,560 1,560	0.15 0.15	1,170 1,170	0.05	390 390	75.0% 75.0%	
事業	内	再任用短時間勤務職		0	3.20	0	0110	0	3.00	0	-	
*コス	訳	任期付短時間勤務職 非常勤職員	員	0		0		0		0	_ _	
下		アルバイト		0		0		0		0	-	
等	支	出 合 計 <b>A</b> 国・府支出金		0		8,385		12,930		6,390	154.2%	
	財	受益者負担 B									-	
	源	その他財源 一般財源		0		8,385		12,930		6,000 390	154.2%	
	受益	者負担率 B÷A				,					-	
		区 分	内		容	単位	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (予定)	目標値 (H26)	
指標値	(1)	☑ 活動 □ 成果	ヤエ	ザクラ植栽ス	<b></b>	本	— ( <i>)</i>	21	30	10		
値	(2)	□活動□成果										
	(3) (4)	□ 活動     □ 成果       □ 活動     □ 成果										
3	` '	<u>□□/43 □ // // // // </u> の達成状況等				1						
	成果の達成状況 🔲 A 目標に向かって順調に推移している 🗍 E						目標に向かって		ていない	✓ C 判断で	きない	
	26年	E度の取組方針	1 事業	内容・手法を	改善改善	<b>√</b> 2∃	現在の事業内	容を継続		3 事務事	業を廃止	
	}	選択の理由	猪名川の河	川管理者の	許可におい	いて、できる『	艮り継続して気	実施していく	0			
(参		`後のアウトソーシン [入の可否		□ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能								
		選択の理由	市長の掲げる「	ガーデンシティ	・池田」構想の	一環として池!	田市としての責務	<del></del>	 いる。			
4	- 担当部長が考える今後の方向性・見通し											
	評価を踏まえた課題と対策						(参考) 🛭	作年度記載0	)「評価を踏	まえた課題	と対策」	

河川管理者である猪名川河川事務所と協議を進めているが、河川管理上、植栽できる場所が限られているため事業が行き詰まってる。今後は、市内の道路、公園や学校施設など植栽できる可能性の高い場所を視野に入れて計画をしていく必要があると考えられる。
。 検討していきたい。
。 検討していきたい。

			事務	事業評価	晒シート(	25年度	実施事務	<b>§事業</b> )					
	総介	合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	[b]	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司		
事務	(※) 第	51期実施計画の事業	名 公園維持管	理事業			(※) 第1期 分類番号/事業	実施計画の 参番号/枝番号	3052	1			
事業名	財	務会計上の事業名	公園維持領	<b>達理事業</b>			財務会計上の短縮番号			5140			
1	事務	事業の概要				※総合	計画第6章に係	系る事業は「湘	也田市行財政	改革推進プ	ラン」による。		
		事業区分	□サービス事	業	プロジェク	卜事業	<b>元</b>	三型事業		☑ 投資的事	業		
会	会計区	区分(会計名を記入	.) ☑ 一般会計	☑ 一般会計   □ 特別会計   (      )   □ 企業会計   (									
	Ī	事業の対象 【誰(何)を】	公園	公園									
		事業の手段 する(させる)ことで】	必要な土地	を借地し、市	万民に対して	の公園の携	是供						
		事 業 の 目 的 ような結果を得るか】	市民1人当り	公園面積の	)10㎡以上@	)確保							
		実施期間	☑継 続	(平成	年度 ~ )			□時 限	(平成	年度~平成	(年度)		
:	事 業	内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度		☑未実施						
	※見直し内容を記入												
		実施根拠	☑ 国・府の	制度	□国・府	の制度+市Ϡ	独自の制度	□市	独自の制度				
		拠となる法令の条項 でを記入	都市公園法旅	面行令第1条									
2	事業	コスト・指標値の	惟移			_			_				
		区 分	23 年 (決算		24 <sup>4</sup> (決		25 <sup>全</sup> (決:		26 <sup>4</sup> (予		H25/H24		
		業費(千円)		18,115		19,679		21,767		66,740	110.6%		
	人(	牛費(人・千円)	0.50	3,780	0.40	2,910		2,910	0.35	2,520	100.0%		
事	-6-1	正職員 再任用短時間勤務耶	0.45 截員 0.05	3,600 180	0.35	2,730 180		2,730 180	0.30 0.05	2,340 180	100.0%		
業	内	任期付短時間勤務和		0	0.03	0		100	0.00	0	100.0%		
II I	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_		
ト		アルバイト		0		0		0		0	_		
等	支	出合計A		21,895		22,589		24,677		69,260	109.2%		
	財	国·府支出金									_		
	州	受益者負担 <b>B</b>		18,115		19,679		16,976		19,168	86.3%		
	源	その他財源 一般財源		3,780		2,910		36 7,665		50,092	060 40/		
	<b>受</b>	者負担率 B÷A	_	82.74		87.12		68.79		27.68	263.4% 79.0%		
	<b>火皿</b>	TABT DIA		02.11		51.12				21.00	13.0/0		
		区 分	内		容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値		
塢					廿		(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)		
指標	(1)	☑ 活動 □ 成果	•	地借り上げく		ヶ所	8	8	8	8	8		
値	(2)	☑ 活動 □ 成果	ŧ 借	り上げ面積	Ī	m²	46,292	46,292	46,293	46,293	46,293		

	区 分	内容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値
+15		ri A	中心	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1) ☑ 活動 □ 成果	公園用地借り上げ公園数	ケ所	8	8	8	8	8
値	(2) ☑活動 □成果	借り上げ面積	m²	46,292	46,292	46,293	46,293	46,293
	(3) □活動 □成果							
	(4) □活動 □成果							

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	□ A 目標に向かって順調に推移している □ B 目標に向かって順調に推移していない	✓ C 判断できない
26年度の取組方針	✓ 1 事業内容・手法を改善 2 現在の事業内容を継続	□3 事務事業を廃止
選択の理由	市民1人当り公園面積は10㎡以上が確保されており、都市公園は充足している。- 基幹公園)は不足している現状があるため。	一方、身近な公園(住区
(参考)会終のアウトソーシング		

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	□1 導入済	□2 事業の全てが可能	□3 事業の一部が可能	✓ 4 不可能
選択の理由	有償で借地している公	、園に対して、地元の意向に配慮す	るとともに、見直しを検討する必要だ	がある。

# 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

## 評価を踏まえた課題と対策

## (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」

五月山緑地や猪名川緑地など、大規模公園も含めると市民1人当たり12.03㎡(平成26年3月31日現在)であり、10㎡以上確保できており、全体的には充足している。身近な公園(住区基幹公園)は不足しているため、今後、地元の意向、利用頻度や都市公園 配置を考慮して、必要な借地公園以外は見直す必要があると考える。また、今後、人口が減少する中、空き地の増加に伴い、緑地も必然的に増えると予想されることも念頭に入れ、見直しをする必要がある。

財政状況の悪く、計画公園の整備もできず、さらに要望も多様化し、増加 しているなかで、今後も有償で借地公園を管理し続ける必要性があるか どうかを精査し、都市計画公園・緑地の見直しの中で、都市公園や借地 公園も含めて検討する必要がある。

			事務基	事業評価	<b>Бシー</b> ト(	25年度	実施事務	<b>务事業</b> )			
	総行	合計画の施策名	良好な自然理	環境を生かり	したまちづく	,b	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司
事務	(※) 第	<b>第1期実施計画の事業名</b>	開設公園維持	持管理事業	į		(※) 第1期 分類番号/事業		3052	2	
事業名	財	務会計上の事業名	開設公園維		· 美		財務会計上	の短縮番号			
1_	事務	事業の概要				※総合	計画第6章に依	系る事業は1池	四田市行財政	改革推進フ	ラン」による。 
		事業区分	□サービス事	業	□プロジェク	卜事業	□ □	它型事業		☑ 投資的事	事業
2		区分(会計名を記入)	✓一般会計	☑ 一般会計 □ 特別会計 ( ) □ 企業会計 (							
	IIII	事 業 の 対 象 【誰(何)を】	開設公園								
	【どう	事業の手段 する(させる)ことで】	池田市公共	池田市公共施設管理公社に補助金を支出し、維持管理業務を実施している。							
		よりな結果を付るが	開設公園の」								
		実施期間	✓継続	, , , -	年度 ~ )			□ 時 限	(平成	年度~平成	大年度)
	事業	: 内容の見直し	□実施	(直近)	平成 年度		☑未実施				
	※見	直し内容を記入									
		実施根拠	□ 国・府の	制度	✓■・府	の制度+市狐	虫自の制度		独自の制度		
		拠となる法令の条項 でを記入	都市公園法施	一 i行令第7条							
2	事業	コスト・指標値の推移									
		区 分	23 年 (決算		24 <sup>全</sup> (決:		25 <sup>全</sup> (決:		26 <sup>全</sup> (予:		H25/H24
		業費(千円)		245,164		251,947		240,324		263,347	
	人化	牛 費 (人・千円)	0.40	3,200	0.30	2,340	0.30	2,340	0.26	2,028	100.0%
事	内	正職員 再任用短時間勤務職員	0.40	3,200	0.30	2,340 0	0.30	2,340	0.26	2,028	100.0%
業コ	, ,	任期付短時間勤務職員	_	0		0		0		0	_
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	
J.	支	アルバイト 出 合 計 <b>A</b>		0 248,364		0 254,287		0 242,664		0 265,375	
等		国·府支出金		440,504		404,401		242,004		178	
	財	受益者負担 B								45,031	
	源	その他財源		242.004		254.005		1,171		222.100	-
	受益	一般財源 :者負担率 <b>B÷A</b>		248,364	<u> </u>	254,287		241,493		220,166 16.97	
	~										
		区 分	内		容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値
指	(1)		F	ほれい 国粉		, <del>=</del> =	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標	(1) (2)	✓ 活動       □ 成果         □ 活動       □ 成果	l <del>7</del>	開設公園数		ケ所	134	134	132	132	_
値	(3)	□ 活動     □ 成果       □ 活動     □ 成果									
(4) □活動 □成果											
3		の達成状況等									
		は果の達成状況	□A 目標(	こ向かって順言	調に推移してい	va √B	目標に向かって	順調に推移し	ていない	□C 判断で	きない
	26年	F度の取組方針		内容・手法を			現在の事業内		Г	3 事務事	

選択の理由

(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否

選択の理由

# 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し 評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」

□3 事業の一部が可能

利用頻度の低い公園の統廃合の検討をし、管理の質を高める必要がある。

□ 2 事業の全てが可能

池田市公共施設管理公社に補助金を支出して維持管理を実施

開設公園改修工事と開設公園維持管理事業では、市の小規模な改修事業と公社補助金による補修事業の二重行政になっているため、非効率であると考えられる。今後は、公社補助金事業については、設立目的のとおり、公共施設の日常の適切な維持管理事業に特化することにより、役割の明確化が必要であると考える。

☑ 1 導入済

平成24年度より、開設公園改修工事から計画的にリニューアルを行う事業分が開設公園再整備事業に移行したことにより、開設公園改修工事と公社補助金との事業内容の住み分けができず、重複している内容がある。そのため、今後は、市と公社の役割を明確にし、適切な維持管理を図る必要がある。

□ 4 不可能

		事務事	業評価	エシート(	25年度	実施事務	<b>务事業</b> )			
	総合計画の施策名	良好な自然環	境を生か	したまちづく	ŋ	担当部署名	都市建設部みて	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司
事務		開設公園改修	工事			(※) 第1期3 分類番号/事業		3052	3	
事業々		開設公園改	修工事			財務会計上	の短縮番号			
1	事務事業の概要				※総合	計画第6章に係	系る事業は「池	1田市行財政	(改革推進プ	ラン」による。
	事業区分	□サービス事業	ŧ	プロジェク	卜事業	<b>立</b>	型事業		☑ 投資的事	業
	会計区分(会計名を記入)	☑ 一般会計	□ #	寺別会計	(	)	□ 企	業会計	(	)
	事 業 の 対 象 【誰(何)を】	開設公園								
	事 業 の 手 段 【どうする(させる)ことで】	開設公園の再	整備工事	及び大規模	改修					
	事 業 の 目 的 【どのような結果を得るか】	市民の公園に	対する利	用頻度の向	Ŀ					
	実施期間	✓ 継 続	(平成	年度 ~ )			□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
	事業内容の見直し	☑実 施	(直近)	平成22年度	:	□未実施				
	※見直し内容を記入	社会資本整備記	十画に沿っ	た事業につい	ては、公園	再整備事業へ	移行した。			
	実施根拠	□国・府の制	度	☑ 国•府(	の制度+市績	虫自の制度	□市៛	虫自の制度		
	※根拠となる法令の条項 までを記入	都市公園法施行	亍令第7条							
2	事業コスト・指標値の推移				_					
	区 分	23 年』 (決算	-	24 年 (決算		25 <sup>全</sup> (決:			年度 :算)	H25/H24
	事業費(千円)		91,820		19,950		50,985		62,179	255.6%
	人 件 費 (人・千円)	0.55	4,400	0.55	4,290	0.45	3,510	0.40	3,120	81.8%
事	正職員 再任用短時間勤務職員	0.55	4,400	0.55	4,290 0	0.45	3,510 0	0.40	3,120	81.8%

		区 分		23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)	
	事	業費(千円)	91,820		19,950		50,985		62,179		255.6%
	人(	件 費 (人・千円)	0.55	4,400	0.55	4,290	0.45	3,510	0.40	3,120	81.8%
		正職員	0.55	4,400	0.55	4,290	0.45	3,510	0.40	3,120	81.8%
事	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_
<b>下</b>		アルバイト		0		0		0		0	_
等	支	出合計A		96,220		24,240		54,495		65,299	224.8%
	П÷	国·府支出金		27,785							_
	財	受益者負担 B									_
	源	その他財源		6,592		9,516		17,194		14,185	180.7%
	I//N	一般財源		61,843 14,724		37,301		51,114		253.3%	
	受益	:者負担率 B÷A									_

		区	<b>☆</b>	内	容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値
+15				台	+117	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標	(1)	✓ 活動	□成果	工事	件数	ヶ所	11	2	5	5	_
値	(2)	□活動	□成果								
	(3)	□活動	□成果								
	(4)	□活動	□成果								

## 3 成果の達成状況等

選択の理由

成果の達成状況	□ A 目標に向かって順調に推移している ☑ B 目標に向かって順調に推移していない □ C 判断できない
26年度の取組方針	☑ 1 事業内容・手法を改善 ☑ 2 現在の事業内容を継続 ☑ 3 事務事業を廃止
選択の理由	利用頻度の低い公園の統廃合の検討をし、管理の質を高める必要がある。
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	□ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能

# 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

# 評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」

公園利用者の安心・安全を図るため池田市の責務として実施している。

開設公園維持管理事業で日常の維持管理を任せ、それ以外の公園改修については すべて市の改修事業として行うよう役割の明確化が必要と考える。 また、小規模な公園改修を市の改修工事で行うには、人員不足が考えられ、効率よく

迅速に市民ニーズに対応できるように適切な予算配分も必要と考える。

平成24年度より、開設公園改修工事から計画的にリニューアルを行う事業分が開設公園再整備事業に移行したことにより、開設公園改修工事と公社補助金との事業内容の住み分けができず、重複している内容がある。そのため、今後は、市と公社の役割を明確にし、適切な維持管理を図る必要がある。

	総合計画の施策名	良好な自然環境を生かしたまちづくり	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司
事務	(※) 第1期実施計画の事業名	五月山緑地整備事業	(※) 第1期3 分類番号/事業		3052	5	
事 業 名	財務会計上の事業名	五月山緑地整備事業	財務会計上	の短縮番号			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

-	事務	* #	عللد	<b>~</b> :	Hunt	<del></del>
	- 14		. <del>*</del>	(/)	н. т.	
_	<b>-14</b> 47.	<i>7</i> 🛨	ᆽ	· _ ·	ии	54

1	事務事業の概要							
	事業区分	□サービス事業	□プロジェクト事業	□定	型事業		☑ 投資的事	業
:	会計区分(会計名を記入)	☑一般会計	□ 特別会計 (	)		業会計	(	)
	事 業 の 対 象 【誰(何)を】	五月山緑地						
	事 業 の 手 段 【どうする(させる)ことで】	五月山緑地内の旅	施設の整備					
	事業の目的 【どのような結果を得るか】	五月山の保全を最	<b>ま大限考慮した上で整備</b>	情を行い、市民の憩	いの場所とな	なる。		
	実 施 期 間	☑継続 (昭	和28年度 ~ )		□ 時 限	(平成	年度~平成	年度)
	事業内容の見直し	☑実施 (į̇́	直近) 平成22年度	□未実施				
	※見直し内容を記入		可の満了に伴い、都市計画 ころ、B/C=1.5という結果					
	実 施 根 拠	□ 国・府の制度	☑ 国•府の制度	+市独自の制度	□市獲	独自の制度		
	※根拠となる法令の条項 までを記入	都市計画法第60条						
2	事業コスト・指標値の推移	多						
	区分	23 年度	24 年度	25 年			年度	H25/H24

		区 分		23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		F度 算)	26 年度 (予算)		H25/H24
	事	業費(千円)		53,576		43,595	70,665		49,000		162.1%
	人 亻	牛 費 (人・千円)	0.20	1,600	0.35	2,730	0.40	3,120	0.19	1,482	114.3%
		正職員	0.20	1,600	0.35	2,730	0.40	3,120	0.19	1,482	114.3%
事	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	_
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
ース	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_
<b>F</b>		アルバイト		0		0		0		0	_
等	支	出合計A		55,176		46,325		73,785		50,482	159.3%
	財	国·府支出金				12,000		26,000		19,000	216.7%
	只	受益者負担 B									-
	源	その他財源		679		21,600		26,000		17,100	120.4%
	15/17	一般財源		54,497	12,725			21,785	14,382		171.2%
	受益	者負担率 B÷A									_

		区	$\Rightarrow$	内	容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値
+12				台	+14	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
哲標	(1)	☑活動	□成果	五月山緑地	也開設面積	ヘク タール	75.1	75.3	75.3	75.3	89.4
値	(2)	□活動	□成果								
	(3)	□活動	□成果								
	(4)	□活動	□成果								

## 3 成果の達成状況等

成果の達成状況	✓ A 目標に向かって順調に推移してい	る 🗌 B 目標に向かって順調に推移してい	ない □ C 判断できない
26年度の取組方針	□ 1 事業内容・手法を改善	🗹 2 現在の事業内容を継続	□3 事務事業を廃止
選択の理由		正隣市町村からの来場者も多い。また、 動に沿って、施設整備を継続して行なう。	

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	☑ 1 導入済     □ 2 事業の全てが可能   □ 3 事業の一部が可能   □ 4 不可能	
選択の理由	五月山緑地内にある五月山体育館、池田城跡公園については指定管理者制度を活用している。	

## 4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

# 評価を踏まえた課題と対策

#### (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」

昨年度は、5カ年計画で駐車場整備に伴い、木の体験広場をなくしたことにより、子ども達の遊び 機能を確保するために、チビッコ広場の遊具機能の充実を図る目的で、大型遊具「忍者の砦」を整備した。同じく整備した五月山ふれあい動物園と併せて、五月山の魅力を高め、来園者も増加し、 利用者のニーズに応えられたと考えられる。

今後は、開園後の利用状況を考慮して、休憩施設や便所の設置を行い、さらに防災性や安全性 の向上を図り、利用者の利便性を向上させるために今後も事業を進めていく必要がある。

本市総合計画に位置づけされており、猪名川と併せて市民の宝、誇りとなっている。また五月山は「ガーデンシティ・池田」のパラメータであり、池田のシンボルであるため、自然環境を保全し、特に南西部は市民のレクリエーションの場や憩いの場として、防災性や安全性の向上を図り、利用者の利便性を向上させるため、今後も事業を進めていく。

	事務事業評価シート(25年度実施事務事業)										
	総	合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	[b	担当部署名	担当課長名	菖蒲孝司		
事務士	(※) 第	51期実施計画の事業名	霊園維持管	理事業			(※) 第1期第 分類番号/事業	実施計画の 美番号/枝番号	3052	8	
事業名	財	務会計上の事業名	霊園維持領	<b>拿理事業</b>		\•/\$\(\dagger\)	財務会計上	5230			
1	事務	事業の概要				※総合	計画第6章に6	糸の事業は「代	四田市行財政	改単推進ノ	プン]による。 -
		事業区分	□サービス事	業	プロジェク	ト事業		它型事業		☑ 投資的事	業
77		区分(会計名を記入)	☑一般会計	t #	寺別会計	(	)	<u></u>	業会計	(	)
	Ē	事業の対象 【誰(何)を】	五月山霊園								
		事業の手段 する(させる)ことで】	池田市公共	施設管理公	社に補助金	を支出し、	維持管理業績	務を実施して	いる。		
		事 業 の 目 的 ような結果を得るか】	五月山霊園	の適切な維	持管理						
	1012	実施期間	✓継続	(平成	年度 ~ )				(平成	年度~平成	え 年度)
	事 業	:内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度		☑未実施				
	※見	直し内容を記入									
		実施根拠	国・府の	 ·制度	国•府	の制度+市物	<u></u> 独自の制度		<u></u> 独自の制度		
	実施根拠 □■・府の制度 □■・府の制度 □■・府の制度 □ 市独自の制度 □ 市独自の制度 □ □ 市独自の制度 □ □ 市独自の制度 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
2	事業	コスト・指標値の推移		-	0.4 /	元曲	05./	T #	oc /	完 座	
		区分	23 年度 (決算)			手度 算)	25 <sup>4</sup> (決:		26 年度 (予算)		H25/H24
		業費(千円)	5,905		6,055			4,851		94.2%	
	人 1	生 費 (人・千円) 正職員	0.35 0.35	2,800 2,800	0.30	2,340 2,340	0.25	1,950 1,950	0.20	1,560 1,560	83.3% 83.3%
事業	内	再任用短時間勤務職員	0.00	0	0.00	0	0.25	0	0.20	0	-
コ	訳	任期付短時間勤務職員 非常勤職員		0		0		0		0	
スト	н	アルバイト		0		0		0		0	
等		出合計A		8,705		8,395		7,653		6,411	91.2%
	財	国·府支出金 受益者負担 <b>B</b>		5,905		6,055		5,703			94.2%
	源	その他財源		0,000		0,000		3,100			-
		一般財源		2,800		2,340		1,950		6,411	83.3%
	安	者負担率 B÷A		67.84		72.13		74.52			103.3%
		区 分	内		容	単位	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (予定)	目標値 (H26)
指標値	(1)	☑活動  成果		墓所数		基	2,897	2,897	2,897	2,897	— (1120)
信値	(2)	□活動 □成果					,		,		
	(3)	□活動 □成果									
	(4)	│									
3		の達成状況等				. <b>.</b> —	- I	- WT - TO 1 - 1/1 - TO 1		1 a skul blet 7	+ + ,
		送果の達成状況 F度の取組方針		に向かって順言 内容・手法をi			目標に向かって 現在の事業内:		ていない し	<ul><li>✓ C 判断で</li><li>✓ 3 事務事</li></ul>	
		選択の理由					図的かつ計画		理を行なう』		
(参		な後のアウトソーシング 入の可否	☑1 導入		2 事業の全	てが可能	3 事業の	D一部が可能	4 :	 不可能	
		選択の理由	池田市公共施設	投管理公社に补	哺助金を支出し	て維持管理を	実施				

評価を踏まえた課題と対策 (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」

昭和43年に建設されて以降、本格的修繕は一度も行なわれていない。各施設は老朽
化しているため、一時の支出を避けるためにも計画的な維持管理を行い、予算の平準
化を図る必要があると考える。

高齢社会を向かえ本市の高齢化も進んでいるため、今後、墓地需要は高まることが予想できる。(H20年4月 20.2%、H24年4月 22.6%)
今後、施設の老朽化による更新やバリアフリー化などの対策が必要になるが、財政状況を考えると、大規模修繕は困難であるため、一層適切な日常である。

	学初学术叶岫2 1 (20十及大旭学初学术)											
	総介	合計画の施策名	良好な自然理	環境を生か	したまちづく	くり	—	都市建設部為	交通·総務課	担当課長名	小林 勝明	
事務事	(※) 第	穹1期実施計画の事業名	霊園墓参事業	Ě			(※)第1期等 分類番号/事業	実施計画の 美番号/枝番号	3052	10		
業名	財	務会計上の事業名	霊園墓参事	業			財務会計上	の短縮番号		5225		
1	※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。 事務事業の概要											
	1 100	事業区分	✓ サービス事	<del></del>	□ プロジェク	小事業		2型事業		□ 投資的事	業	
2	会計区	区分(会計名を記入)	☑ 一般会計	‡	寺別会計	(	)		業会計	(	)	
	틕	事業の対象 【誰(何)を】	五月山霊園墓	喜参者								
	【どう	事業の手段 する(させる)ことで】	盆、彼岸に墓参バスを借上げ運行する									
		事 業 の 目 的 ような結果を得るか】	墓参者の利何	更性を図る								
		実施期間	✓ 継 続	(平成 年	度 ~ )			□ 時 限	(平成	年度~平成	定 年度)	
	事業	内容の見直し	☑実施	(直近)	平成25年周	芰	□未実施					
	※見i	直し内容を記入	バスの種類、	台数を変り	<b>E</b>							
	\•/ L□	実施根拠	□国・府の制	刮度	□国・府	の制度+市	独自の制度	☑市Ϡ	独自の制度			
	**根表	拠となる法令の条項 でを記入	_									
2	事業	コスト・指標値の推移										
		区 分				丰度 算)	25 <sup>全</sup> (決:		26 <sup>4</sup> (予	丰度 算)	H25/H24	
		業費(千円)	0.00	1,055	0.00	1,431	0.51	1,226	0.55	1,466		
	人 1	<u>件 費 (人・千円)</u> 正職員	0.20 0.20	1,600 1,600	0.20	1,560 1,560		2,148 1,638	0.57 0.02	1,566 156	255.0% 105.0%	
事業	内	再任用短時間勤務職員		0		0		0	0.25	900	_	
コ	訳	任期付短時間勤務職員 非常勤職員		0		0		0		0	_	
スト		アルバイト		0		0		510	0.30	510	_	
等	支	出 合 計 <b>A</b> 国·府支出金		2,655		2,991		3,374		3,032	112.8%	
	財	受益者負担 B									_	
	源	その他財源 一般財源			1,431 1,560		1,226 2,148		1,188 1,844	85.7% 137.7%		
	受益		1,600			1,500		2,140	1,044 137.			
							23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値	
+1-2		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
指標	(1)	□活動 ☑ 成果		利用者数		人	3,261	3,095	3,273	3,200	3,200	
値	(2) (3)	☑ 活動       ☑ 成果         ☑ 活動       ☑ 成果		運行回数 ベ運行回数	ikr	日日	3 10	3	3	3 10	3 10	
	(4)	□活動□成果	<u>Æ</u>	连门四家	х	Н	10	10	10	10	10	
3	成果	の達成状況等					•			<u>,                                    </u>		
		は果の達成状況	☑ A 目標に	向かって順語	調に推移してい	<b>ハる</b> □ B	目標に向かって	順調に推移し	ていない	□ C 判断で	きない	
	26年	<u> </u>	□ 1 事業月	内容・手法を	改善改善	✓ 2	現在の事業内	容を継続		3 事務事	業を廃止	
	選択の理由 利用者の利便性を図るため。											
(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否 □ 1 導入済 □ 2 事業の全てが可能 □ 3 事業の一部が可能 □ 4 不可能												
	選択の理由 バス運行を民間バス事業者に委託。											
4	担当	 部長が考える今後の	<u> </u>     方向性•貝i	<u></u> 通し								
			を踏まえた課題				(参考) 🛭	作年度記載の	)「評価を踏	まえた課題	と対策」	
		の種類変更、増便に』 けしていく。	り、利便性が	向上してい	る。今後もむ	改善点があ	バスの低床 が、利用者z る。	車両化のた。 が定着してい				

			事務	事業評価	西シート(	25年度	実施事務	8事業)				
	総	合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	<u>(</u> 9	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司	
事 務 事 (※) 第1期実施計画の事業名		公園施設情	青報デジタル	化事業		(※)第1期等 分類番号/事業	実施計画の 養番号/枝番号	3052	11			
事業名	財	務会計上の事業名	公園施設	情報デジタ	ル化事業	\•/\$\\\ \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	財務会計上	の短縮番号		-7/-++-1//-/		
1	事務	事業の概要		計画第6章に位	糸の事業は「代	型田市行財政	び単推進ノ	フン」による。				
		事業区分	□サービス	事業	プロジェク	卜事業	<u></u>	已型事業		☑ 投資的事	業	
4	会計区	区分(会計名を記入)	☑一般会	t	寺別会計	(	)	<u> </u>	<b>主業会計</b>	(	)	
	Ī	事 業 の 対 象 【誰(何)を】	公園台帳									
		事 業 の 手 段 する(させる)ことで】	公園台帳の	デジタル化								
		事業の目的 ような結果を得るか】	台帳のデジ	タル化により	)、事務の効	率化及び公	*園施設の中	長期的な計	画に基づく	管理		
		実施期間	□継 続	(平成	年度 ~ )			☑時 限	(平成21年	年度~平成	25年度)	
	事業	内容の見直し	□実 施	(直近)	平成 年度		☑未実施					
	※見	直し内容を記入										
		実施根拠	✓ 国•府(	D制度	□■国・府	の制度+市	独自の制度	□市	独自の制度			
	※根 ま	拠となる法令の条項 でを記入	都市公園法	第17条								
2		コスト・指標値の推移	多									
		区 分	23 年度 24 年度							年度 算)	H25/H24	
	事	業 費(千円)	(決算) (決 6,615			<del>异</del> / 0		(伏昇) 10,272		<del>昇)</del> 2,000	-	
	人	件費(人・千円)	0.20		0.15	1,170	0.30	2,340	0.20	1,560	200.0%	
事	内	正職員 再任用短時間勤務職員	0.20	1,600	0.15	1,170 0	0.30	2,340	0.20	1,560 0	200.0%	
業コ		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	_	
ス	訳	非常勤職員アルバイト		0		0		0		0	_	
ト等	支	出合計A	8,215			1,170				3,560	1077.9%	
	財	国·府支出金	6,615								_	
	和	受益者負担 <b>B</b> その他財源									_	
	源	一般財源	1,600			1,170	1,170 12,612			3,560		
	受益	者負担率 B÷A									-	
		区 分	内		容	単位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値	
指	(1)		臣又	<b>与</b> 京田江 I	*/-		(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)	
標値	(1) (2)	☑ 活動     □ 成果       □ 活動     □ 成果		急雇用延人	<b></b>	人	301	17	16	_	_	
胆	(3)	□活動□成果										
	(4)	□活動 □成果										
3		の達成状況等							_	_		
成果の達成状況				に向かって順			目標に向かって		ていない	C 判断で		
26年度の取組方針				内容・手法を			現在の事業内 国台帳のデジ		アニアいて	3 事務事		
		選択の理由					日限のアンレ化は実施さ					
(参		な後のアウトソーシング 享入の可否	□ 1 導力	.済 🗌	2 事業の全	てが可能	3 事業の	の一部が可能	<b>4</b>	不可能		
	· ·	選択の理由	都市公園法第	17条により、公	園の台帳整備に	は公園管理者	の責務である。					

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
都市公園法に基づき、台帳を整備し保存することは公園管理者の義務である。 今後は 公園台帳整備に伴い、公園のリニューアルなどによる更新作業も継続的に必要と考え る。	都市公園法に基づき公園台帳整備は必要であるが、すべての公園について整備するためには、費用も労力もかかるため、今後も緊急雇用創出事業などさまざまな手法を活用して整備していきたい。

				事務	事業評個	西シート(	25年度	実施事務	8事業)					
総合計画の施策名				良好な自然	環境を生か	したまちづく	ŋ	担当部署名	都市建設部み	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司		
事務	(※) 第	第1期実施計	画の事業名	開設公園再	整備事業			(※) 第1期 分類番号/事業	実施計画の	3052				
事業財務会計上の事業名			の事業名	開設公園再	<b>F整備事業</b>	<u> </u>		財務会計上						
※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」によ <b>1 事務事業の概要</b>												ラン」による。		
		事業区	分	□サービス事	<b>事業</b>	□プロジェク	卜事業		定型事業		☑ 投資的事	業		
会計区分(会計名を記入)			名を記入)	☑一般会計	†	寺別会計	(	)	<u> </u>	業会計	(	)		
		事 業 の 対 【誰(何)を		開設公園										
		事業の手する(させる		公園施設の	公園施設の老朽化に伴い、計画的なリニューアル工事									
		事業の目		公園利用者	公園利用者が安心して利用できる安全な公園にする事が出来る。									
		実施期	間	✓ 継 続	(平成24年	F度 ~ )			□時 限	(平成	年度~平成	定 年度)		
	事業	内容の	見直し	☑実施	(直近)	平成24年度	Ę	□未実施						
	※見	直し内容を記	記入	平成24年度よ	り計画的かっ	つ総合的に進	める事の出	来る社会資本	整備総合交付	金事業に移	行した。			
		実施根		□国・府の	制度	✓ 国•府	の制度+市	独自の制度	□ 市?	独自の制度				
		拠となる法令 でを記入	か条項	都市公園法施	运行令第7条									
2			原値の推利	多										
	事業費(千円)			23 年 (決算		24 <sup>左</sup> (決力		25 <sup>4</sup> (決		26 <sup>4</sup> (予	H25/H24			
					_	79,013				27,453		123.3%		
	人 1	件 費 (人 正職員	•千円)	0.00	0	0.50 0.50	3,900 3,900		5,070 5,070	0.56 0.56	4,368 4,368	130.0% 130.0%		
事	内		<b>計劃務職員</b>		0	0.50	0		0	0.50	1,300	150.0%		
業コ	≓n		計劃務職員		0		0		0		0	-		
ス	訳	非常勤職アルバイト			0		0		0		0			
ト等	支	出合計			0		82,913		102,531		31,821	123.7%		
Ì	財	国•府支出					26,000		37,000	12,000		142.3%		
		受益者負その他財	_				23,400		37,000			158.1%		
	源	一般財源	<i>D</i> 15		0		33,513		28,531		19,821	85.1%		
	受益	者負担率	B÷A									-		
							W/II.	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値		
مايا <u>.</u>		区	分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)		
指標	(1)	☑活動	□成果		工事件数		ヶ所	_	4	7	2	_		
標値	(2)	□活動	成果											
	(3)	活動	□成果											
_	(4)	活動	□ 成果											
3		の達成状		<b>√∧ 日堙</b>	に向かって順言	調に推移してい	\Z \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	目標に向かって	店=田/一批・投	フいたい 「	C 判断で	きかい		
成果の達成状況 26年度の取組方針				_	内容・手法を			現在の事業内		רניישני ב	3 事務事			
		選択の理					<u> </u>	識が芽生え		も継続する~				
(参		う後のアウト	ソーシング		·÷	_ <del>-</del>	1 /1 A	·			<b>7</b> = 1 A⊁.			
		算入の可否		□ 1 導入	済 □	2 事業の全	てが可能	□3 事業0	の一部が可能	✓ 4	个可能			

選択の理由

昨年度は国の大型補正を活用することにより、社会資本整備計画の年度前倒しに伴い、公園リニューアル計画の進捗率が向上した。また、身近な公園における市民の多様なニーズに対応した公園リニューアル工事が例年より多く実施することができ、市民の期待に応えられたことは評価できる。

評価を踏まえた課題と対策

公園利用者の安心・安全を図るため池田市の責務として実施している。

## (参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」

安全で安心して利用できる公園再整備に併せて、地域住民と恊働で地域 のニーズにあった公園へリニューアルすることで、さらに公園利用者の増 加が図られるため、今後も引続き、再整備を進めていく。

	43	<b>A 到                                   </b>	<u> </u>	·ᄪᆙᅷᆠᅦᅩᄀ		*10	Landa In France				-111114			
車		合計画の施策名	良好な自然	環境を生か	したまちづく	.9	担当部署名	都市建設部み、	ずとみどりの課	担当課長名	菖蒲孝司			
務事	(※) 第	第1期実施計画の事業名					(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号							
業名	財	務会計上の事業名	五月山ふれ	いあい動物	園整備事		財務会計上							
1	事務	事業の概要				※総合	計画第6章に位	系る事業は「池	也田市行財政	で改革推進プ	ラン」による。			
_	1 23	事業区分	□サービス事	事業	プロジェク	卜事業		已型事業		✓ 投資的事	業			
-	会計区	区分(会計名を記入)	☑一般会計	t	 寺別会計	(	)		業会計	(	)			
	Ī	事業の対象	五月山ふれ	五月山ふれあい動物園										
		【誰(何)を】 事業の手段	五月山緑地整備事業の一環として整備											
	4	する(させる)ことで <b>】</b> 事業の目的												
	【どの	ような結果を得るか】 実施期間	☑継続	<ul><li>五月山動物園の拡充による来場者数の向上</li><li>☑継続 (平成25年度 ~ )</li><li>□時限 (平成 年度~平成 年度)</li></ul>										
	車業	芸 旭 朔 间	□実施		平成 年度			□ 時 限	(平成	十及"干风	年度)			
				(但处)	一块 千皮									
	※見	直し内容を記入		4.1.		- 4 4 4			U # ~ # * *					
	※根	実施根拠拠となる法令の条項	□□国・府の	制度	□□国•府	の制度+市	独自の制度	☑市犭	独自の制度					
2	·	<mark>でを記入</mark> コスト・指標値の推移	<u> </u> 											
	ず禾	区 分	23 年			丰度	25 <sup>4</sup>			年度	H25/H24			
	重:	業費(千円)	(決算	(決	算)	(決	算) 40,792	(予	算) 0	-				
		件費(人·千円)	0.00	0	0.00	0	0.15	1,170	0.15	1,170	_			
事		正職員 再任用短時間勤務職員		0		0		1,170	0.15	1,170	_			
業	内	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0				
コス	訳	非常勤職員		0		0		0		0	_			
ト等	支	アルバ仆     出 合 計 A		0		0		0 41,962		0 1,170	_			
守		国·府支出金		0		0		28,000		1,110	-			
	財	受益者負担 <b>B</b>						40.500			_			
	源	その他財源 一般財源		0		0		12,792 1,170		1,170	_			
	受益	活負担率 B÷A		Ū,		0		1,110		1,110	_			
							23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値			
		区 分	内		容	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)			
指標	(1)	□活動 ☑成果		来場者数		人	—	405,676	432,009	_	500,000			
信値		□活動 □成果						·			·			
	(3)	□活動□成果												
	(4)	│								<u> </u>				
3		の達成状況等	// <b>,</b>	に合む - マッケ=	m1=4#16:	\7 \ \	口無与力!一	· MIX = II / = 1/4 / 5 ·		C skil blir -	キかい			
		<sup>え果の達成状況</sup> 平度の取組方針		に向かって順言 内容・手法をi			目標に向かって 現在の事業内		Cいない L	C 判断で 3 事務事				
		選択の理由	五月山ふれ	あい動物園	としてのハー	 -ド面の整備	端は完了した		ト面での拡					
		27(7)15	なる来園者数	数の同上を図	凶る必要がる	<b>ある。</b>								
(参考) 今後のアウトソーシング 導入の可否 ☑ 1 導入済   □ 2 事業の全てが可能							□3 事業の	の一部が可能	4	不可能				
		選択の理由	五月山動物園に	は指定管理者の	の制度を導入し	ている。								
4	担当	部長が考える今後の		<u></u> 通し										
	,		を踏まえた課				(参考)即	作年度記載0	)「評価を踏	まえた課題	と対策」			
	_ Jb \ -		L10	da 1 . 2 - 1 . 3	60 V	<b>→</b>		_						
		動物園を整備することに。 と考えられる。今後も池田												
		施設として、市民のみなら							_					
Í							I							